



# 第13回NICT/EMC-net シンポジウム

～ 実用化が間近に迫る5GシステムとEMC ～

今日の情報社会では、あらゆる電気・電子機器が通信機能を持つようになるため、身の回りの携帯無線端末や電子機器、家電製品、電磁エネルギー利用などに対する「安全・安心」の確保に必要なEMC技術が非常に重要な課題になります。

このような状況を背景として、国立研究開発法人・情報通信研究機構(NICT)では2006年秋に産学官連携組織NICT/EMC-net を立ち上げました。おかげさまで延べ580余名のEMC技術者が参加し、EMCの様々な課題について、研究会などを通じた情報交換や意見交換、さらに会員参加の巡回測定などを実施しております。今回のシンポジウムでは、いよいよ実用化が間近に迫っている5Gシステムに関連したEMCの話題について、各界の専門家に御講演を頂くとともに、各研究会の一年間の活動を報告し、今後の事業について幅広くご議論頂きたいと考えております。

主 催： 国立研究開発法人情報通信研究機構 (NICT)  
期 日： 2019年2月22日 金曜日 14:00～17:30  
会 場： ベルサール八重洲 (電話：03-3548-3770)  
〒103-0028 東京都中央区八重洲1-3-7 八重洲ファーストフィナンシャルビル2F  
(会場へのアクセスは次頁をご参照ください)  
参加費： 無料  
参加申込み： 参加申込書にご記入のうえ、EメールもしくはFAXにてお送りください。  
(参加申込書は <http://emc.nict.go.jp/emc-net/index.html> よりダウンロードできます。)  
申込締切り： 2月13日水曜日 必着

※お申込みいただいた方には後日、参加票を郵送いたします。(2月初旬より順次発送)当日お越しの際に受付にお持ちください。なお、定員になり次第、参加受付を締め切らせていただきます。

## <プログラム> (敬称略)

14:00 開会挨拶 細川 瑞彦 (NICT 理事)

### 基調講演

14:10～14:45 「5Gセルラシステムの開発動向と予想される社会へのインパクト」  
三瓶 政一 (大阪大学大学院工学研究科 電気電子情報工学専攻 教授)

### 講演

14:45～15:20 「5G アンテナのOTA評価」  
本田 和博 (富山大学 大学院理工学研究部 (工学) 講師)

15:20～15:55 「電波防護に関する適合性確認法の国際標準化動向」  
大西 輝夫 (株式会社 NTT ドコモ 先進技術研究所

ワイヤレスフロントエンド研究グループ 主任研究員)

～休憩～

## EMC-net 活動報告

16:25～16:40 EMC測定法研究会  
(主任) 石上 忍 (東北学院大学 工学部情報基盤工学科 教授、NICT特別研究員)

16:40～16:55 EMC校正法研究会  
(主任) 藤井 勝巳 (NICT 電磁波研究所 電磁環境研究室 研究マネージャー)

16:55～17:10 人体の電磁界ばく露評価研究会  
(主任) 多氣 昌生 (首都大学東京 システムデザイン学部 電子情報システム工学科 教授、NICT統括特別研究員)

17:10～17:25 将来課題研究会  
(担当) 後藤 薫 (NICT 電磁波研究所 電磁環境研究室 研究マネージャー)

17:25 閉会挨拶 平 和昌 (NICT 電磁波研究所長)

## ■会場（ベルサール八重洲）へのアクセス



〒103-0028 東京都中央区八重洲1-3-7 八重洲ファーストフィナンシャルビル2F  
電話：03-3548-3770

最寄り駅

「日本橋駅」 A7出口直結（東西線・銀座線・浅草線）

「東京駅」 八重洲北口徒歩5分（JR線・丸ノ内線）

## ■参加申込みに関するお問い合わせ

国立研究開発法人情報通信研究機構

電磁波研究所 電磁環境研究室

EMC-net事務局

松本 泰、兼平 忍

Tel: 042-327-7446 Fax: 042-327-7537

メール:[info-emcnet@nict.go.jp](mailto:info-emcnet@nict.go.jp)